

入職時は、頭で分かっているけど  
社会人になるイメージがつかなく  
不安で一杯だった

今は、主体的にケアしていく中で  
“責任”をととても感じるようになった

2階1病棟  
回復期リハビリテーション病棟  
児嶋 裕佳子さん

#### Q.入職した時の気持ち

A.学生から社会人になり、社会のことをよくわからない状態で入職し、責任をもって働くことは頭ではわかっているけど想像がつかない状態でした。不安で一杯でした。不安な気持ちは同級生と共有していました。



#### Q.今行っているケアや業務

A.今は、一部屋程度受持ちを持って、バイタルサインの測定や採血や採尿などの検査など少しずつ業務を覚えていきます。導尿などの処置は、研修でも演習しましたが清潔操作が難しく、手が3～4本欲しいくらいに思いました(笑)看護技術は難しいです。

#### Q.現在の気持ち

A.患者さんを受け持つようになり、自分が患者さんの変化に気付いて報告するなど主体的にケアしていく“責任”をととても感じるようになりました。準備や段取りを指導者と共に打ち合わせることで不安を解消して仕事しています。不安の解消法は、帰宅の途中に音楽を聴きながら気持ちを切り替えるようにしています。同期が同じ部署にもいるので、話をして不安な気持ちを共有して力を貰っています。



#### Q.今の目標

A.自分が受け持っている患者さんのバイタルサインの異常に気付き、体の中で何が起きているか、報告が必要かどうかを考えられるようになりたいです。「ここまでできた！」と思っても、少し時間が経つとできなくなってしまうことがあり、行ったり戻ったりして、少しずつでもできるようになると良いなと思っています。

#### Q.学習方法

A.その日分からなかったことや躓いたことなどを中心に学習しています。研修で行ったことも実際に実践するときに分からなくなることもあるので、何度も復習しています。患者の疾患や症状なども学習しています。

#### Q.研修で活用できたこと

A.看護技術は、研修の内容を今も思い出したり復習して活用しています。最近は、摘便の手技や注意事項を復習して実践に活かしています。

#### Q私の国家試験対策と就活

A.学内実習や就活で夏は忙しく、レビューブックなど少しずつ読んで進めていました。秋頃からゼミの先生と一緒にスパートをかけて勉強しました。就活は、学校に届くパンフレットを見て考え、3年生の3月頃にインターンシップに行ったりしていました。最終的には学校の先生に勧められ愛全病院を選びました。病院ではないような明るい雰囲気があって素敵だなと思いました。学ぶ環境として急性期が良いかと思っていましたが、今は自分に合った環境のところを選ぶ方が良かったなと思っています。

